

(スライド 0)

京都大学 教育学研究科
ソウル大学校 師範大学教育学科
学術交流協定記念講演
2016. 11. 11

(スライド 1)

韓国における現在の教育政策

講演者：BAEK, Sun-Guen 教授
ソウル大学校 師範大学教育学科

元 韓国教育開発院 院長
元 韓国教育評価学会 会長
元 OECD CERI 運営委員
元 韓国 UNESCO 運営委員
元 ソウル大学校 入学本部 本部長

(スライド 2)

目次

1. はじめに
2. 現政府の主な教育政策
3. 初・中等教育改革方案
4. 大学教育改革方案
5. おわりに

(スライド 3)

1. はじめに

※ 21 世紀という時代的文脈

- ▶ 知識の生成・消滅の周期が短い高度の知識・情報化時代／知能情報社会／第 4 次産業革命
- ▶ 国境なき無限競争の世界化時代
- ▶ 少子高齢化／気候変動／両極化時代

(スライド4)

弘益人間

※ 韓国における教育の目的

教育は弘益人間の理念のもと、すべての国民をして、人格を陶冶し、自主的な生活能力と民主市民として必要な資質を備えるようにし、人間らしい生活を営むべく、民主国家の発展と人類共栄の理想を実現することに寄与することを目的とする。

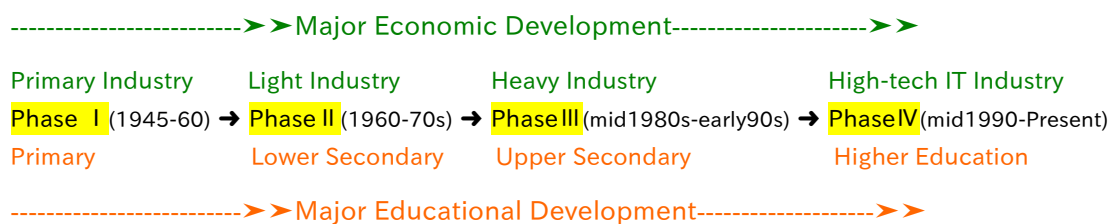
(スライド5)

未来志向的な韓国型教育モデル：個人と国家発展のための力動的教育

- ▶ 3つの構成要素
 - ✓ 政府の先導的リーダーシップ
 - ✓ 優秀な教師
 - ✓ 教育を重視する社会風潮
- ▶ 3つの発展戦略
 - ✓ 体系的なアプローチ (systematic approach)
 - ✓ 段階的なアプローチ (stepped approach)
 - ✓ 順次的なアプローチ (sequential approach)

(スライド6)

Educational Supports Economic Development in Korea



(スライド7)

韓国が目指すべき方向性

- ▶ 模倣と追従 ⇒ 創造と先導
- ▶ 開発途上国 ⇒ 先進一流国家
- ▶ 地方と首都圏 ⇒ 大韓民国と世界

(スライド 8)

- ▶ 自己実現と全人教育
 - ⇒ 個人が中心となる教育／心理学的観点
- 社会発展と統合に貢献できる人材、品格のあるグローバル・シチズン
 - ⇒ 共同体本位の教育／生態学的観点

(スライド 9)

配慮し分かち合う心を持つ品格のある創意的なグローバル人材の育成

- ▶ 人格教育 ⇒ 仁・義・礼・智・信／忠孝
- ▶ 力量教育 ⇒ 合理性、創意性、公正さ、リーダーシップ、チームワーク、根気、配慮、貢献
- ▶ 世界化教育 ⇒ 柔軟な態度 (open mind)、相互尊重、勇気、開拓精神、世界市民意識

(スライド 10)

2. 現政府の主な教育政策

課題 29	教育費負担の軽減
課題 64	無償保育および無償教育の拡大 (0～5 歳)
課題 66	学校教育の正常化推進
課題 67	大学入試の負担軽減のための大学入試の簡素化
課題 68	大学特性化および財政支援の拡大
課題 69	教員が教育に専念できる環境づくり
課題 70	専門人材養成のための教育を強化
課題 71	専門大学を高等職業教育の中心機関として集中的に育成
課題 72	100 歳時代に向けた国家生涯学習体制の構築
課題 73	学歴よりも能力が評価される社会づくり
課題 76	学校暴力および危険防止のための環境づくり
課題 103	地方大学に対する支援拡大

(スライド 11)

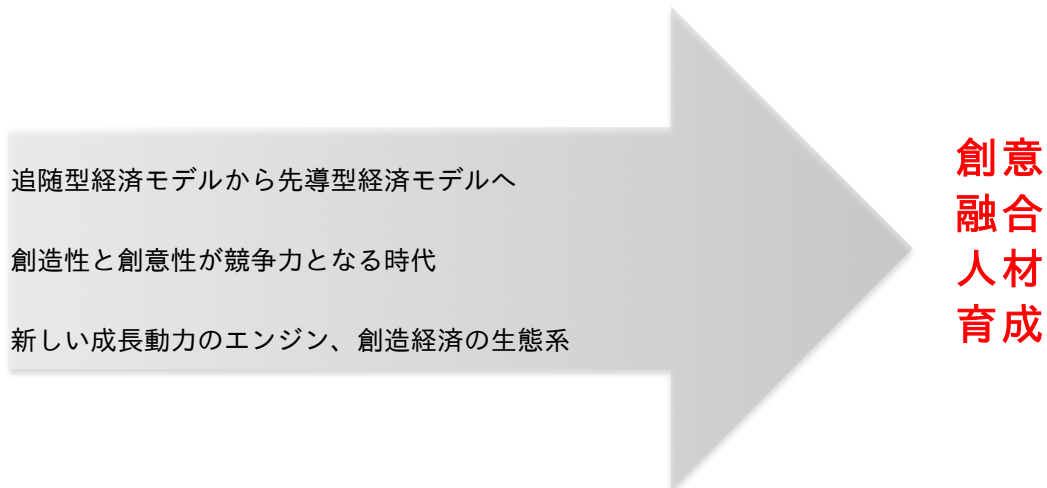
現政府の目指す創造経済

- 創造経済＝パラダイムの転換
「創意性を韓国経済における核心的な価値とし、科学技術と ICT (情報通信技術) の融合を通して産業と産業とが融合し、産業と文化とが連携することで新たな付加価値と雇用を創出する

こと」

(出典：朝鮮日報 2013年4月4日 企画財政部業務報告)

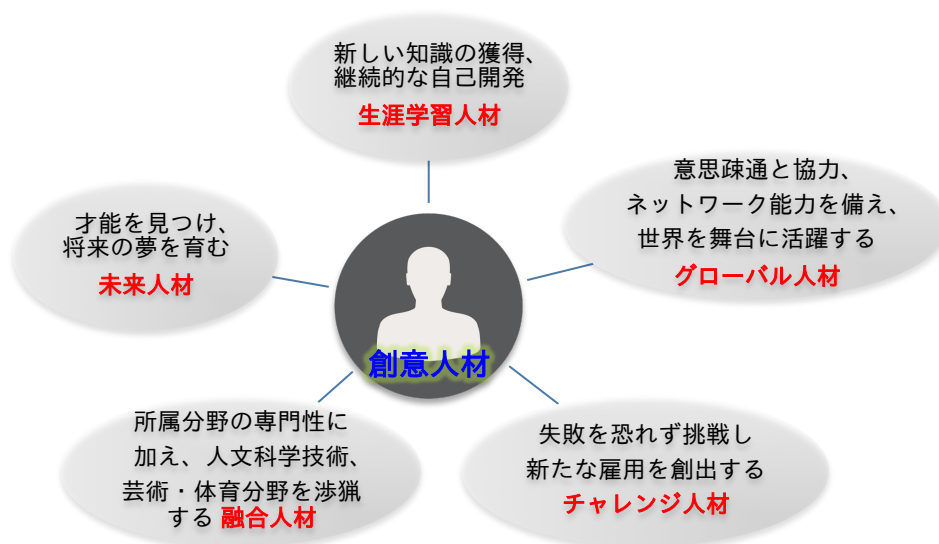
(スライド 12)



(出典：経済・人文社会研究会編(2013)、創造経済の新しい発展パラダイム)

(スライド 13)

創造経済時代の人材像



(出典：「創造経済をリードする創意人材育成方案」未来部・教育部・雇用部および関係部署協業、2013.08.02.)

(スライド 14)

- ◎ 幸せな教育 (教育部、2013.03)
 - 才能を生かす創意性教育
 - ▶ 自由学期制／進路進学相談教師／学業達成度評価の改善／学校における体育の活性化
 - 夢を叶える幸せな教育
 - ▶ 専門大学の育成／地方大学の育成／教育と雇用の連携／国家生涯学習体制の構築
 - 授業が楽しい情熱教育
 - ▶ 1 クラスあたりの学生数と教員 1 人あたりの学生数の減縮／標準授業時数と統計業務の軽減／教員行政支援人力／教員評価改善
 - 教育費の心配のない心強い教育
 - ▶ 放課後、無償保育／3～5 歳の育児支援 (ヌリ課程)／高校無償教育／大学授業料負担の軽減

(スライド 15)

- ◎ 誰もが幸せな教育、未来を切り開く創意人材 (教育部、2014.02)
 - 夢と才能を育てる **幸せな学校**
全人的成長のための教育課程を整備するとともに安全な学校環境づくり
 - 創造的な人材を育成する **質の高い大学**
大学教育・力量の強化とシステム改革を通じた創意人材の養成
 - チャレンジする人が成功する **能力中心の社会**
現場中心の職業体制および 100 歳時代にふさわしい生涯学習体制の構築
 - 希望が叶う **開かれたチャンスの国**
教育機会の平等を保障し、私教育・大学入試の不安を解消することで幸せな教育を実現

(スライド 16)

- ◎ 創意人材の養成および能力中心社会の構築 (教育部、雇用労働部、2015.01)
 - 優れた人格と創意性を育てる夢・才能教育の拡大
 - **産業の労働需要中心の人材養成体制への改編および仕事・学習の両立を可能にする教育・訓練の拡大**
 - 職務能力中心の雇用文化・補償システムの拡大支援
 - **NCS (National Competency Standards) の現場への定着のための内実化支援**

(スライド 17)

- ◎ 誰もが幸せな教育、未来を切り開く創意人材 (教育部、2016.01)
 - **学生の夢と才能を育てる教育**

- 社会が要求する人材の養成
- 生徒一人一人の学習能力に合わせた教育サービスの提供
- 安心して学校に通わせられる環境づくり
- 世界をリードする韓国の教育に向けて

(スライド 18)

2016 年、教育部 5 大核心戦略

- ① 学生の夢と才能を育てます。
 - ・ 自由学期制の全面的な実施
 - ・ 人格、体育、芸術教育の強化
 - ・ 一般高校の力量強化
 - ・ 2015 年改正教育課程の学校安着
 - ・ 完成度の高い正しい歴史教科書の編纂
 - ・ 教員のモチベーション向上
- ② 社会が求める人材を育成します。
 - ・ 大学の構造改革の継続的な推進
 - ・ 大学生の起業・就職支援
 - ・ 生涯教育単科大学の開設など就職後大学進学への支援拡大
 - ・ 韓国型オンライン公開講座 (K-MOOC) の活性化
 - ・ 社会の要望に応える大学教育の改編
 - ・ 産学一体型徒弟式教育 (大学) の拡大
- ③ 生徒一人一人の学習能力に合わせた教育サービスを提供します。
 - ・ 初等放課後教育の質の見直し
 - ・ 地方教育に対する財政効率化の継続的な推進
 - ・ 学業中退者に対する汎部署総合支援システム構築
 - ・ 育児支援 (ヌリ課程) の現場安着
 - ・ 国家奨学金および学資金制度改善
 - ・ 社会的弱者への教育支援拡大
- ④ 安心して通わせられる学校をつくります。
 - ・ 学校安全事故の予防計画樹立
 - ・ 学校暴力および自殺予防
 - ・ 学校・学年別の保護者教育
 - ・ 学校伝染病の対策樹立
 - ・ 児童虐待の根絶
 - ・ 美味しく栄養のある学校給食の提供
- ⑤ 世界をリードする韓国の教育を目指します。
 - ・ 世界市民教育の拡大
 - ・ 教師の海外進出の活性化
 - ・ 東アジア教育共同体の構築
 - ・ 高等教育の国際化

(スライド 19)

3. 初・中等教育改革方案

- 初・中等教育における創意性教育の促進要因
 - ※ 1,500 名を対象に行われた世論調査の結果
 - ・ 共通の意見 1 : 教師の自発性と教科に対する専門性
 - ・ 共通の意見 2 : 自発性や積極性など、創意性教育に対する興味関心
 - ・ その他 : 創意性教育に対する探求 / 討論形式の授業 (41.0%)、体験学習 (34.4%)、旅行 (11.2%)、読書 (9.4%)、ボランティア活動 (3.4%)、運動 (0.6%) の順

(出典：韓国教育開発院 世論調査(KEDI POLL)、2010)

(スライド 20)

● 初・中等教育における創意性教育の阻害要因

<正規学校教育が創意性啓発につながらないとする理由(複数回答、%)>

	事例数	受験のための 詰め込み教育	政府の 教育政策	プログラムの 不在	教師の 資質	入試制度	その他	
全体	(1500)	56.5	29.6	28.0	24.7	24.9	0.3	
回答 区分	回答者*	(968)	59.9	31.2	27.6	25.6	26.1	0.2
	回答者の 子ども*	(532)	50.2	26.7	28.8	23.1	22.6	0.4

(出典：韓国教育開発院 世論調査(KEDI POLL)、2010)

(*訳者注：調査対象は19歳～65歳未満の全国の成人男女33,408,173名。初等教育から高等教育までに関連する質問項目で構成されていることから、回答区分の「回答者」は未婚者で子ども無し、「回答者の子ども」は子どもが正規教育段階にある保護者を意味するものであることが出典資料から推察される。)

- ・ 共通の意見1：教師と生徒ともに自尊心が低く消極的な態度は創意性教育に役に立たないと回答
 - 学校においてさらに積極的な生活態度を涵養させていくことが創意性教育のための重要な課題であることが示唆
- ・ 共通の意見2：教師の過度な業務負担
 - 教師が教科に対する研究や授業に集中できるように行政およびその他の業務を減らすための対策が必要

(スライド 21)

※ 理論的な教授力量と実践的な教授力量の相対的重要度

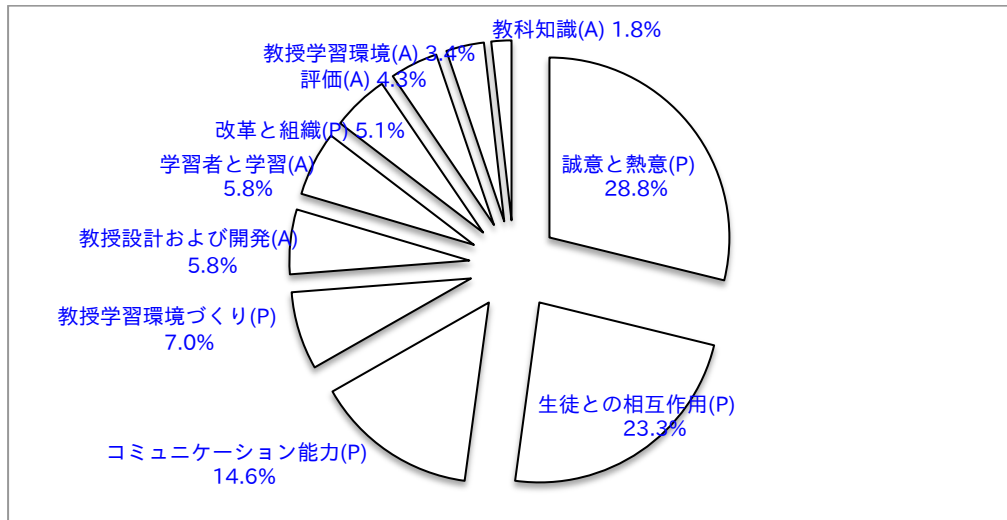


→ 実践的な教授力量を理論的な教授力量によりも (3.72倍) 重要であると認識

(BAEK et al. 2012)

(スライド 22)

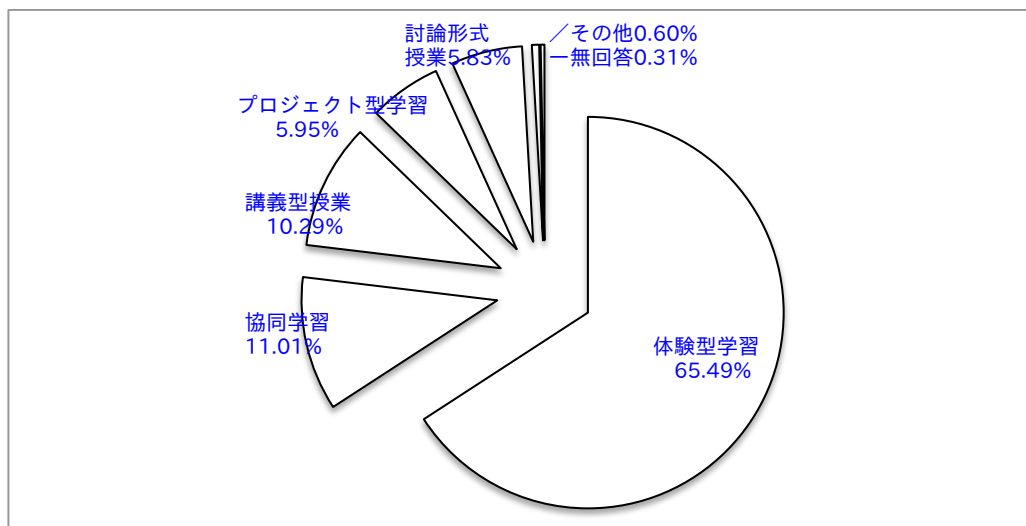
※ 中学校教師の教授力量を構成する下位要素の相対的重要度（総合）



(BAEK et al. 2012)

(スライド 23)

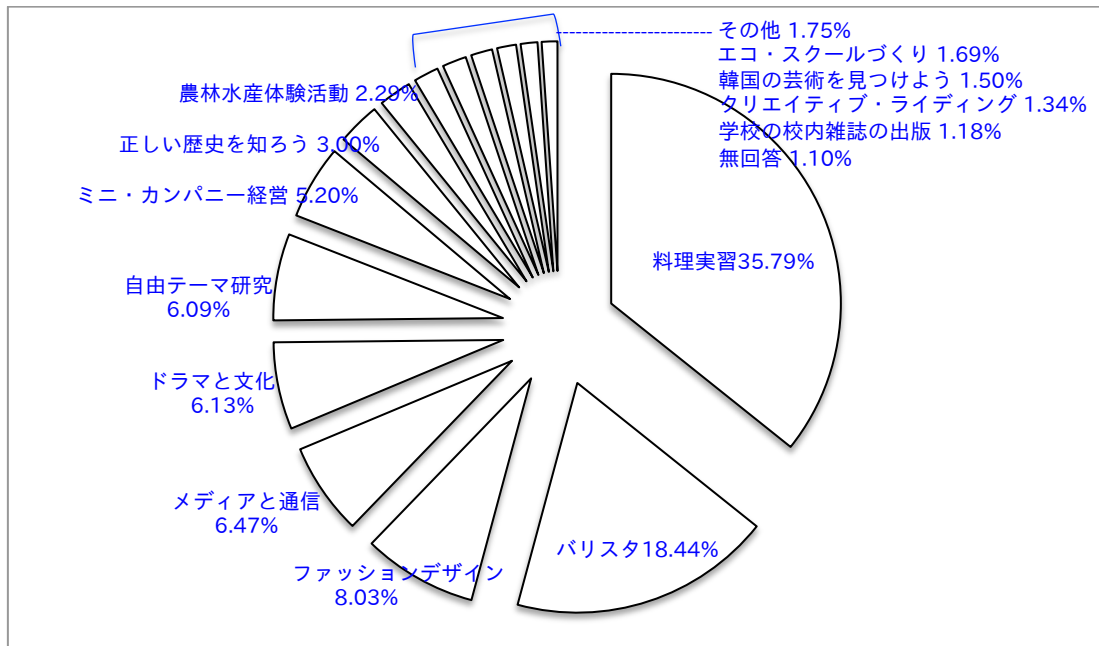
※ 中学校 1 年次の生徒が求める基本教科の授業形式（N=7,810）



(KEDI, 2013)

(スライド 24)

※ 中学校 1 年次の生徒が求める自律選択プログラム (N=7,810)



(KEDI, 2013)

(スライド 25)

体験型中心の教授—学習の重要性

- ▶ 言葉で教えると → 忘れてしまう
- ▶ 見せてあげると → 覚えるかもしれない
- ▶ だが、体験させると → 確実に理解するだろう

(スライド 26)

教授法による学習の効率性ピラミッド

教授方法		平均保持率 (Average Retention Rate)
受動的な教授法 (Passive Teaching Methods)	講義 (Lecture)	5%
	講読 (Reading)	10%
	視聴覚 (Audio-Visual)	20%
	実演 (Demonstration)	30%
参加型の教授法 (Participatory Teaching)	集団討論 (Group Discussion)	50%
	実践 (Practice)	75%

Methods)	他人の指導 (Teaching Others)	90%
----------	-------------------------	-----

(出典：National Training Laboratories. Bethel, Maine, USA.
Dale. E. (1969). *Audio-visual methods in teaching* (3 ed.). New York: The Dryden Press.)

(スライド 27)

● 中学校における「自由学期制」の導入

自由学期制とは？ 中学校において1学期の教育課程をフレキシブルに運営する制度
授業運営を、生徒参加型に改善／進路探索活動の強化／多様な体験活動

適性・素質に合う進路探索＋自己主導型学習能力の培養＋人格および未来力量教育の強化

↓
初・中・高校全般にわたる教育革新へ
↓

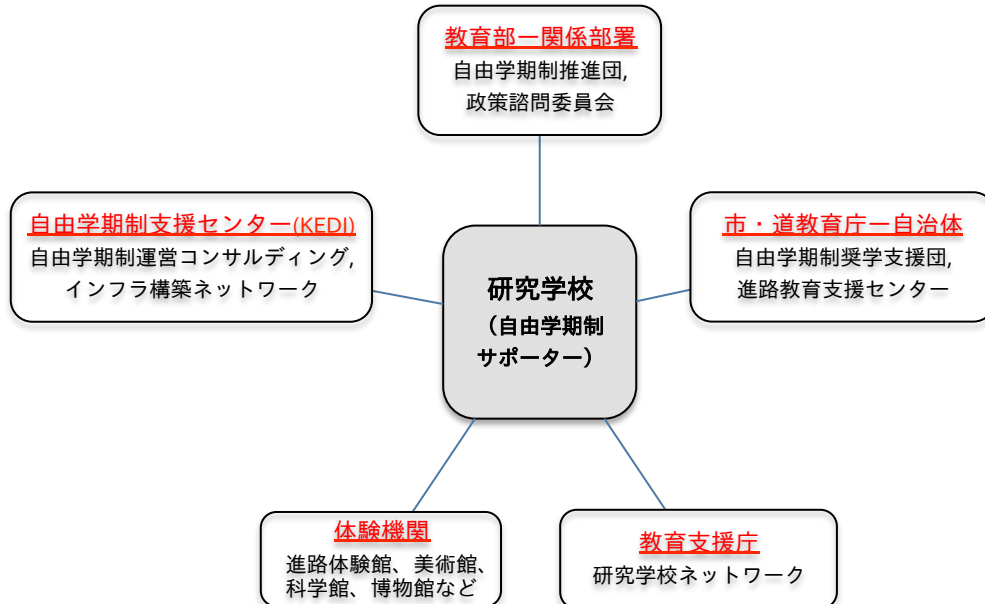
『夢と才能を育てる幸せな学校教育』

(出典：教育部 (2013.06.03) 自由学期制の試験的運営計画)

(スライド 28)

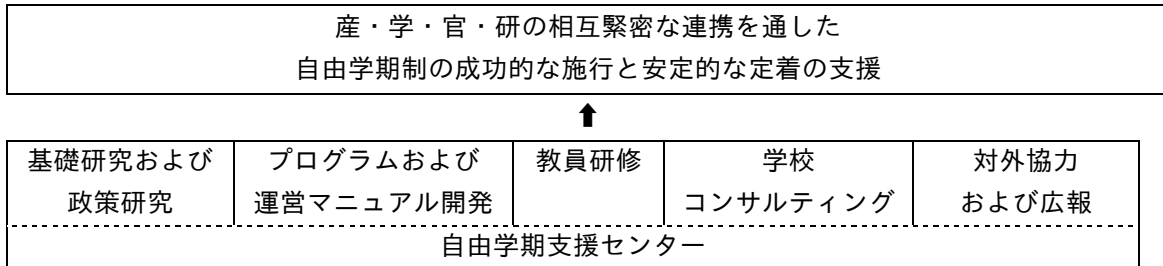
● 中学校における「自由学期制」の運営

関連機関の間のパートナーシップ形成とネットワーク構築を通じた
汎部署レベルの共通理解の形成および協力支援



(スライド 29)

● 韓国教育開発院 (KEDI) 自由学期制支援センターの設立目的および役割

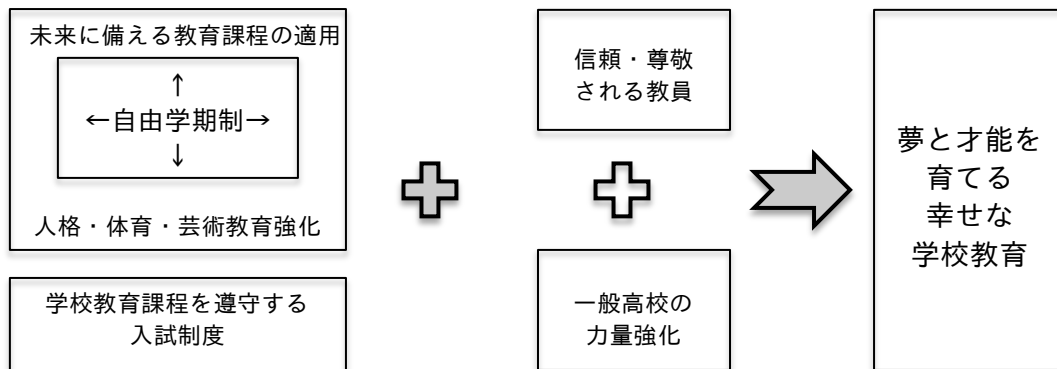


(スライド 30)

「自由学期制の実験的運営の成果」

- ① 生徒の学校生活満足度と幸福度の増進に寄与
- ② 教師の教職に対するやりがいと自負心の再考に寄与
- ③ 中学校における教育の多様化と内実化に寄与
- ④ 保護者の参加および学校教育への満足度の再考に寄与
- ⑤ 学校と地域社会の連携強化に寄与

(スライド 31)



(教育部、2016.01)

(スライド 32)

人格教育振興法 (2015.07.21)

▶ 人格教育：

内面の健全さを育み、他人・共同体・自然とともに生きていく上で必要な人間らしい品性と力量を育てていくことを目的とする。

- ▶ 中心的な価値・徳目：
礼・孝・正直さ・責任・尊重・配慮・意思疎通・協同など

- ※ 米国の Josephson Institute：
信頼 (trustworthiness)、尊重 (respect)、責任 (responsibility)、公正 (fairness)、
配慮 (caring)、市民意識 (citizenship)

(スライド 33)

2015 年改訂の教育課程の推進方向性 (教育部、2015.09.23)

<これまで>

- ・ 多すぎる学習量に追いつくための授業
- ・ 数学試験の難易度が高く、諦めてしまう生徒を作り出しており、
また学習達成度が高くても数学への興味が低い
- ・ 知識詰め込み型学習を通して追従型経済に適合した人的資源を養成

↓

<これから>

- ・ キー概念を中心とした学習内容の再構成
- ・ 参加型授業を通して学習に対する興味を高める
- ・ 創意的思考力を育み、先導型創造経済を牽引する創意融合型人材を養成

- ※ 2017 年より小学校 1,2 年生を対象に導入し、2020 年まで高校課程への適用を目指す

(スライド 34)

- ▶ 「2015 年改訂の教育課程」で目指される人間像
- ① 自律的人間：全人的な成長にもとづき、自己アイデンティティを確立させ、将来の進路や人生を切り開いていける人。
 - ② 創意的人間：基礎的な能力にもとづき、多様な発想やチャレンジ精神をもって新しい何かを作り出せる人。
 - ③ 教養のある人間：文化的知識や多元的価値に対する理解にもとづき、人類普遍の原理を享有し、発展させていける人。
 - ④ 共に生きることの出来る人間：共同体意識をもって世界と交流していく市民としての配慮と貢献を實踐できる人。

(スライド 35)

▶ 「2015 年改訂の教育課程」

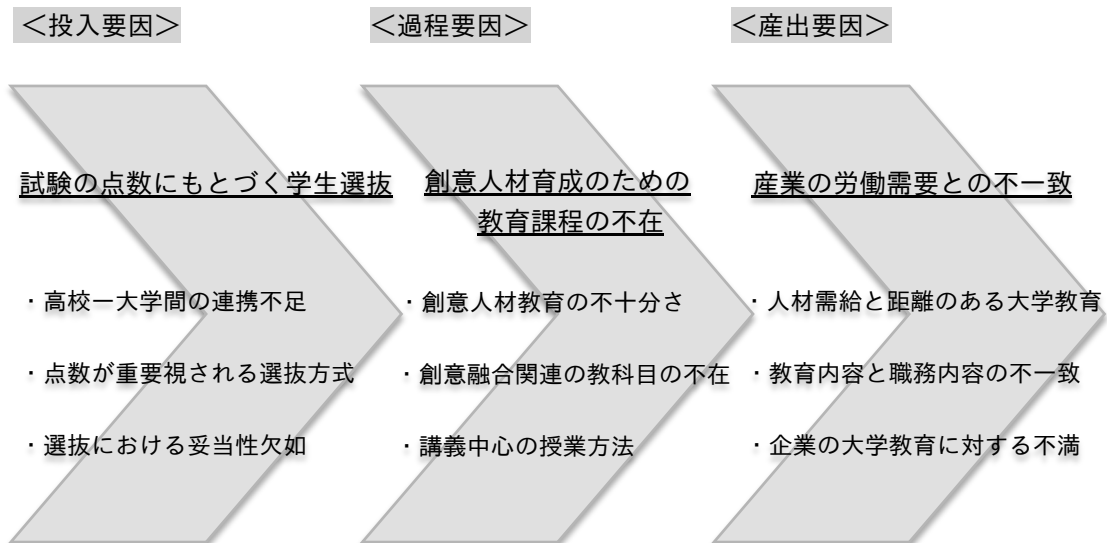
- 知識詰め込み型教育 → 学ぶことを楽しむ幸せな教育へ
- ① 自己管理能力
 - ② 知識情報処理能力
 - ③ 創意的な思考力
 - ④ 審美的な感性力
 - ⑤ 意思疎通能力
 - ⑥ 共同体力量

※ 力量：あることを実際にやっていく実践能力

(スライド 36)

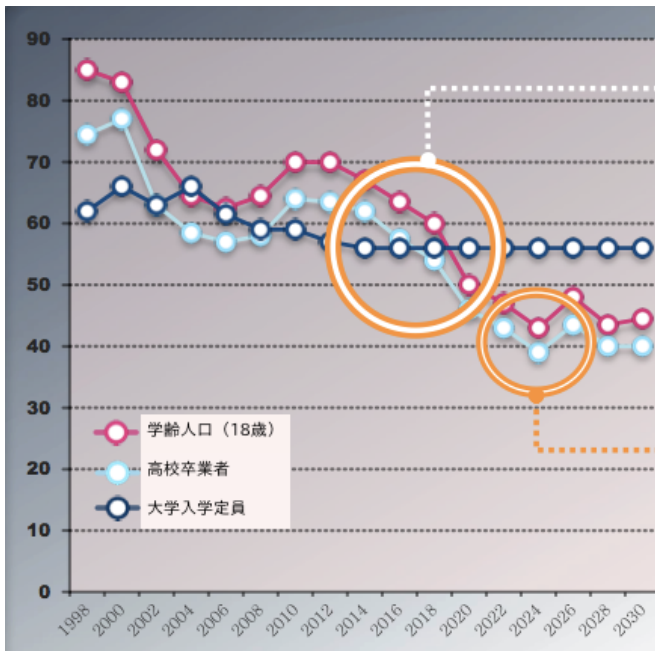
4. 大学教育改革方案

● 大学における創意融合人材育成の問題点



(スライド 37)

学齢人口の急激な減少



▶ 2023 年度
高卒者数 40 万人
(2013 年度、63 万人)

▶ 現在の大学入学定員数が
維持された場合、2018 年
には高卒者数を超過
(2023 年度、40 万人)

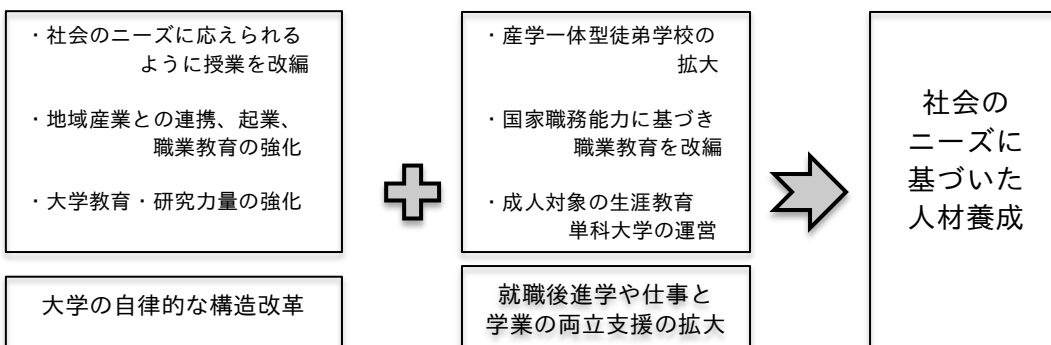
(出典：教育部 報道資料、2014.01)

(スライド 38)

● 国内外における大学教育改革事例からの示唆

- ・ 専攻の間の壁を崩し、創意的で統合的な人材を育成
- ・ 教育課程および教授—学習方法改革を通して教育効果を最大化させ、核心的な力量を強化
- ・ 産・学・官・研の間の連携を通して教育—雇用の不一致を解消

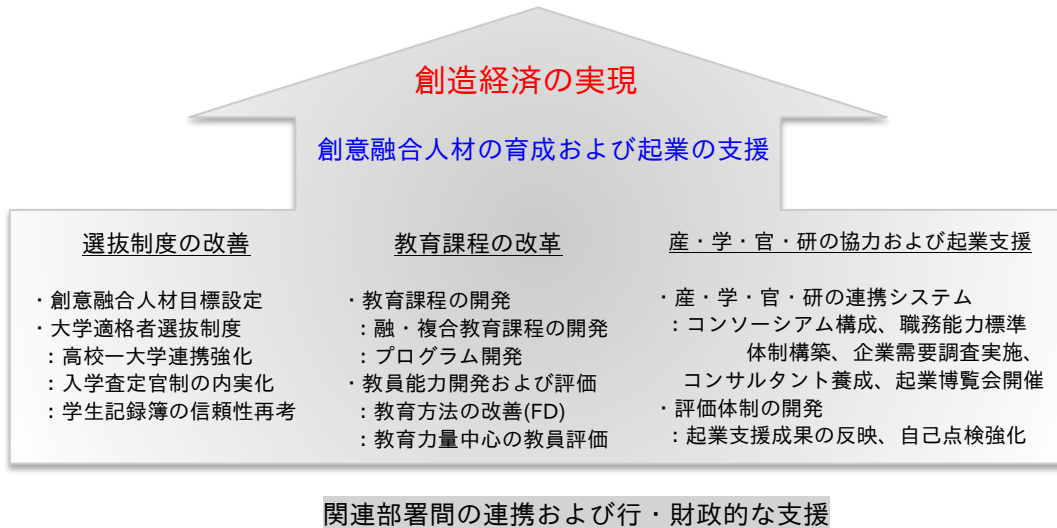
(スライド 39)



(教育部、2016.01)

(スライド 40)

● 創造経済の実現に向けた大学教育改革方案



(スライド 41)

産・学・官・研の緊密な連携を通じた改革

「一組の夫婦が生んだ子どもだが、その子を上手く育てていくためには

コミュニティの支援が必要である」

「相手の意見が違うのではなく、自分と異なるだけである（相互尊重と開かれた対話）」

「急いで行くためには独りで行き、遠く行くには共に行け（相互協力と集団的知性）」

「明るい未来は、継続的な人材の補充と努力を要求する。

それ故、相互が痛みを分かち合い、積極的に参加していくことが必要である」

(スライド 42)

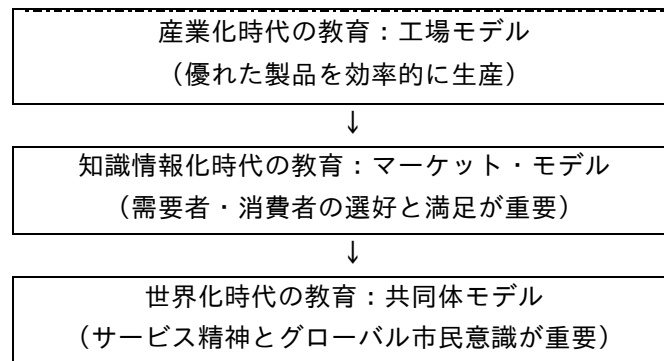
2014年11月4日、韓国教育開発院と世界銀行の共催で
「幸せな教育の実現と創意人材の育成」
(Achieving HOPE (Happiness Of People through Education)
: Innovation in Korean Education for a Creative Economy)
をテーマにソウルにて教育革新国際シンポジウムを開催

(スライド 43)

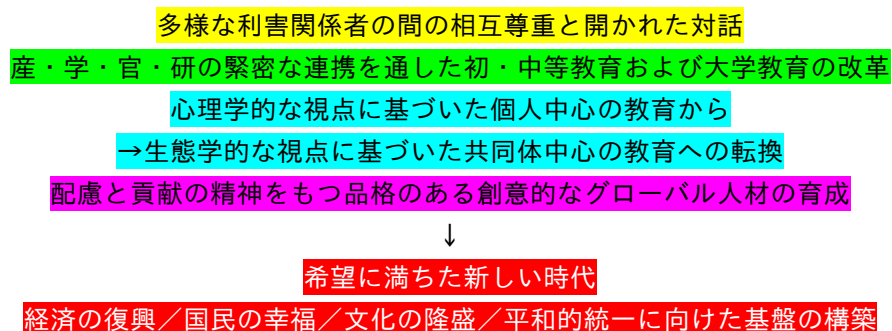
2015年5月19日～22日、仁川にて
「教育を通じた Quality Of Life (QOL) の変化」をテーマに
「世界教育フォーラム (World Education Forum)」を開催
(世界 167 ヶ国の約 1,500 名の代表が出席し、「仁川宣言」に合意)
: すべての人々に包容的で平等な良質の教育を保障し、生涯学習の機会を促進させよう。
(Ensure inclusive and equitable quality education and
promote life-long learning opportunities for all.)

(スライド 44)

5. おわりに



(スライド 45)



(スライド 46)

ご清聴、ありがとうございました。
(dr100@snu.ac.kr)